

研究指導上の手続きについて

1. 4月入学の場合

入学前 志望指導教員の届け出（学生が出願書類に志望指導教員を記入）

入学後 1年次

4月末まで 主指導教員、副指導教員の決定
（主指導教員が「指導教員承諾書」を事務局へ提出）

5月末まで 研究指導計画書の作成
（主指導教員が「研究指導計画書」を作成し、事務局へ提出）

随時（計画の変更があった場合）

変更後の研究指導計画書の作成
（主指導教員が変更後の「研究指導計画書」を作成し、事務局へ提出）

2. 10月入学の場合

入学前 志望指導教員の届け出（学生が出願書類に志望指導教員を記入）

入学後 1年次

10月末まで 主指導教員、副指導教員の決定
（主指導教員が「指導教員承諾書」を事務局へ提出）

11月末まで 研究指導計画書の策定
（主指導教員が「研究指導計画書」を作成し、事務局へ提出）

随時（計画の変更があった場合）

変更後の研究指導計画書の作成
（主指導教員が変更後の「研究指導計画書」を作成し、事務局へ提出）

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科
修士学位論文審査申請に関する手続きについて

1. 審査の時期

「9月審査」、「3月審査」の2回

2. 学位授与

「9月授与」、「3月授与」の2回

9月審査は「9月授与」、3月審査は「3月授与」とする。

3. 修士学位の称号

修士（生物資源科学）

4. 修士論文審査

1)、2)の二段階にわたる申請手続きの後、審査が行われる。

1) 審査の申込み

申請者は下記要領で必要書類を提出すること。

① 申請時期

9月審査：6月中旬、3月審査：12月上旬

② 提出書類

修士学位論文審査申込書

③ 提出先

指導教員

④ その他

提出の際、申請者の現課程における単位の取得状況及び国内学会大会等における発表状況（予定含む）が確認される。

2) 審査の本申請

申請者は下記申請要領で必要書類を提出すること。

① 審査願の提出要件

次に挙げる要件を全て満たすこと。

a. 修了に必要な単位（「修士論文」以外）を取得済（または見込）であること。

b. 博士前期課程在籍中に、国内学会大会、支部大会、国際会議や外国学会大会で、提出する学位論文に関連するトップオーサーでの口頭発表が1件以上あること。

※発表はポスター発表（立会発表者に限る）や発表予定（エントリー済に限る）も可とする。

ただし、学部での業績に基づく発表は含まないものとする。

② 提出書類

申請者は下記要領で必要書類を提出すること。

- a. 申請時期
9月審査：8月上旬、3月審査：1月中旬
- b. 提出書類
 - ・修士学位論文審査願
 - ・修士学位論文表紙（審査委員数に1を加えた数）
 - ・修士学位論文本文（審査委員数に1を加えた数）
 - ・論文発表会用の要旨（電子媒体及び紙媒体1部）
- c. 提出先
秋田キャンパス教務チーム

3) 論文発表会

① 構成

発表時間15分、質問時間10分とし、公開審査とする。

② 時期

9月審査：8月下旬、3月審査：2月中旬

5. 学位授与決定後の提出書類について

本学では、修士学位論文を製本し本学図書館（秋田C）に保管しています。学位授与決定後、下記要領で論文を提出してください。

1) 提出期限

9月授与：9月中旬、3月授与：3月中旬

2) 提出書類

修士学位論文（電子媒体及び紙媒体1部）

3) 提出先

秋田キャンパス教務チーム

※各種提出期限等の詳細及び提出書類の様式は秋田県立大学イントラネットから確認すること。

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科
博士（課程博士）学位論文審査申請に関する手続きについて

1. 審査の時期

「6月審査」、「9月審査」、「12月審査」、「3月審査」の4回

2. 学位授与

「9月授与」「3月授与」の2回

6月、9月審査は「9月授与」、12月、3月審査は「3月授与」とする。

3. 博士学位の称号

博士（生物資源科学）

4. 博士論文審査

博士学位論文予備審査を合格した者が、本審査を受けることができる。

1) 予備審査

① 予備審査願の提出要件

次に挙げる要件を全て満たすこと。

a. 修了に必要な単位（「博士論文」以外）を取得済（または見込）であること。

b. 博士後期課程在籍中に、博士後期課程中間発表会を開催していること。

※早期修了申請予定者については、教授会の議を経て、博士後期課程中間発表会の開催を省略することができる。

c. 博士後期課程在籍中に、提出する博士学位論文に関連する原著論文が2件あること。うち1件はトップオーサーの論文、もう1件はトップオーサーの論文またはその他の論文（博士学位論文に関連する内容ではあるが、トップオーサーではない論文を言う。）であること。

※対象となる論文は、英語又は日本語で作成され、審査付き専門誌に発表されたものに限る（ただし、発表は受理済みのものであれば対象可とする。）。また、その他の論文については、プロシーディング、学会大会要旨集への発表であっても審査があれば可とし、加えて、博士後期課程入学以前に発表されたものも可とする。

② 提出書類

申請者は下記要領で必要書類を提出すること。

申請は、指導教員により①の確認及び審査願提出の承認を得たうえで行わなければならない。

a. 申請時期

6月審査：3月中旬、9月審査：6月中旬、

12月審査：9月上旬、3月審査：12月上旬

b. 提出書類

・博士学位論文予備審査願

- ・予備審査用博士学位論文（審査委員の部数）
- ・博士学位論文要旨（予備審査用論文表紙）（審査委員の部数）

c. 提出先

秋田キャンパス教務チーム

③ 審査委員会

予備審査に係る審査委員会は、少なくとも1回は公開で行う。

2) 本審査

① 本審査に係る提出書類

申請者は下記要領で必要書類を提出すること。

a. 申請時期

6月審査： 5月中旬、9月審査：8月上旬、
12月審査：11月中旬、3月審査：1月中旬

b. 提出書類

- ・学位論文審査願
- ・博士学位論文表紙（審査委員数に1を加えた数）
- ・博士学位論文本文（審査委員数に1を加えた数）
- ・博士学位論文の要旨（電子媒体及び紙媒体1部）

c. 提出先

秋田キャンパス教務チーム

② 論文発表会

a. 構成

発表時間40分、質問時間15分とし、公開審査とする。

b. 時期

6月審査： 5月下旬、9月審査：8月下旬、
12月審査：11月下旬、3月審査：2月中旬

5. 学位論文の取り扱いについて

本学では、博士の学位を授与された者の学位論文及び論文と審査結果の要旨を「秋田県立大学機関リポジトリ」で公開することとしています。学位授与決定後、下記要領で書類を提出してください。

1) 提出期限

9月授与：翌年7月、3月授与：翌年1月

2) 提出書類

- ・博士学位論文（電子媒体及び紙媒体1部）
- ・機関リポジトリ登録申請・公開許諾書

3) 提出先

秋田キャンパス教務チーム

※各種提出期限等の詳細及び提出書類の様式は秋田県立大学イントラネットから確認してください。

秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科 学位論文審査基準

令和6年4月24日

生物資源科学研究科教授会決定

令和6年4月1日 施行

1 前期課程

学位規程第5条に定める学位論文審査委員会（以下「委員会」という。）による修士論文の査読と論文発表会を経て、以下の項目について基準を満たしているかを修士論文審査票（審査様式1号）により審査し、総合評価を100点満点として60点以上かつ「研究者倫理・技術者倫理」の評価が可の場合を合格とする。

論文審査項目

① 専門性

- ・研究の背景と目的を理解して、課題を明確にしている。
- ・問題発見と解決法の提案に必要な実験や調査が適切に行われている。
- ・実験や調査によって得られたデータの解析と考察が適切になされている。

② 論旨の適切性

- ・修士論文が、研究背景と研究目的を踏まえ、実験や調査によって得られたデータの解析から考察に至るまで一貫した論考がなされている。

③ 発表・質疑応答

- ・論文発表会での発表と質疑応答が適切になされている。

④ 研究者倫理・技術者倫理

- ・研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、学位論文の作成及び発表に関して、適切な倫理的配慮がなされている。また、学内の研究活動の不正行為防止に関する規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守している。

2 後期課程

委員会による博士論文の査読と論文発表会を経て、以下の項目について基準を満たしているかを博士論文審査票（審査様式2号）により審査し、総合評価を100点満点として60点以上かつ「研究者倫理・技術者倫理」の評価が可の場合を合格とする。

論文審査項目

① 専門性

生物資源科学分野の博士として、広範な専門知識と高度な問題発見・解決能力を身に付けている。また生物資源科学分野の未解決な課題に対し、先端的なアプロー

チ方法や解決方法を開拓して、独創的な研究を発展させていく能力を身に付けている。

② 研究テーマの適切性

設定したテーマが生物資源科学研究科の博士学位に対して適切である。

③ 研究方法の適切性

設定テーマを研究する際に、明確な研究目的を持ち、適切な調査・実験・解析方法を用いている。また得られた結果に基づいて博士学位にふさわしい分析と考察がなされている。

④ 独創性

博士論文の成果が対象とする研究領域において、優れた研究業績であり、かつ独創性を有している。

⑤ 論旨の適切性

博士論文が、研究背景と研究目的をふまえ、得られた研究結果から考察に至るまで一貫した論考がなされている。かつ生物資源科学研究領域で、博士学位の水準に達している。

⑥ 発表・質疑応答

論文発表会での発表と質疑応答が適切になされている。

⑦ 研究者倫理・技術者倫理

研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、学位論文の作成及び発表に関して、適切な倫理的配慮がなされている。また、学内の研究活動の不正行為防止に関する規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守している。